

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 新潟臨港福祉会

特別養護老人ホーム桃山園
デイサービスセンター桃山園
ケアハウス桃山園
サービス付き高齢者向け住宅ここあん
訪問介護ステーションここあん
デイサービスセンターここあん
居宅介護支援事業所ここあん

I. 事業の概況

令和6年度は、3年に一度の介護報酬改定が行われ、1. 地域包括ケアシステムの深化・推進、2. 自立支援・重度化防止、3. 働きやすい職場環境の整備、4. 制度の安定性・持続可能性の確保が示されました。介護報酬は、介護事業全体で1.59%のプラス改定となっており、基本報酬の見直しや介護職員等処遇改善の一本化が行われ、特に特養の改定率は+2.79%となっており、当法人におきましては大きなプラスの改定となりました。しかし、当法人が運営する各事業の利用率は前期と比べ改善することができましたが、事業計画に掲げる目標利用率を達成することができなく、見込んだ収入を得ることができなかったことや、長期にわたる物価高騰や人件費の上昇により、費用が著しく増加し厳しい決算状況となりました。

事業計画では、**1.サービスの向上 2. 経営基盤の強化、事業運営の効率化 3. 利用者の生活環境、利用環境の整備**を基本方針に掲げ、事業運営を行ってまいりました。

サービスの向上につきましては、研修を通じて職員のレベル・スキルアップし、より質の高いサービスの提供を行い、利用者・家族から信頼される施設を目指してまいりました。また、特養におきましては、入居者家族等とのコミュニケーションを強化することや、事業の生産性向上のため電話連絡や郵送による通知等をICT化しました。

経営基盤の強化、事業運営の効率化につきましては、日々の業務を見直すことや居宅支援事業所等への営業の強化を行い、地域の福祉ニーズの掘り起こしなどで、新規利用者の獲得を重点に運営してきました。

当法人の基幹事業である特養は、前期より空床が発生した場合の空床期間を短縮することができましたが、入院者が過去最大となり、また新型コロナウイルス感染症の影響で空床期間が多く発生しました。デイサービスセンター桃山園では、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に変更された影響や、営業活動の成果により、新規利用者は増加傾向にありましたが、利用者の体調の変化などで他施設へ移る等で前期よりも利用率は改善されたものの、目標利用率を達成することができませんでした。ケアハウスにつきましては、満室が継続しておりまして、現在も問い合わせ、見学が来ている状況です。

サービス付き高齢者向けここあんににつきましては、前期よりも入居率は上がりましたが、新規入居があっても退居者も多く、入居者は微増となりました。また、併設する介護保険事業では、地域密着型通所介護及び居宅介護支援事業所を休止し、訪問介護ステーションのみの運営を行ってきました。入居者の要介護度が比較的に低いことで、介護サービスの量が増加せず、必要な収益を得ることができませんでした。

利用者の生活環境、利用環境の整備は、利用者の安心と安全確保を図るための対策を行ってまいりました。転倒、事故リスクを減らすために施設内の安全を高める対策、清掃、消毒の徹底で感染症、食中毒のリスクを減らす、空調管理で室温を適正にし、衛生状態、健康維持を保つことなどを実施して快適に生活できる環境を整備してまいりました。

II. 事業実績

令和6年度の事業実績は、特別養護老人ホーム桃山園の利用率は目標94.1%に対し

して実績は 92.4%となりました。空床が発生した場合の空床期間は短縮しておりますが、入院者数が延人数で 2,378 人（1 日あたりの平均入院者数 6.5 名）となりました。デイ桃山園の利用率は目標 80.6%に対しまして 70.8%となりました。年度当初は順調に利用率が推移しましたが、下半期は新規利用者が少なかったことや利用者の入院や他施設への入所などにより利用率の改善にいたっておりません。ケアハウスにつきましては昨年 5 月から満室が継続しております。問い合わせや見学者も多く、今後も続いていくと思われます。ここあんはサ高住 41.8%、デイここあんは 11 月から休止し 10.7%、ヘルパーステーションの延訪問回数は 3,030 人でした。入居があつて退居があるということで入居者数が増加しておりません。また、ヘルパーステーションも、入居者の状態が自立あるいは要支援者が多く利用者がわずかで、訪問回数も少なく推移いたしました。

このような状況で桃山園の各事業は介護報酬の改定や利用率の改善により増収となり、費用も人件費や水道光熱費、給食費をはじめ諸経費の高騰がありましたが、サービス活動増減差額はプラスに転じました。

ここあんにつきましては、年間を通して利用者が増えず大きな損失計上となり、法人経営にとって深刻な結果となりました。

法人全体の損益状況はサービス活動収益計が 580,320 千円で、昨年比 27,684 千円の増収、サービス活動費用計が 644,360 千円で昨年比 21,354 千円の費用増、サービス活動外増減、特別増減を入れた当期活動増減差額は△63,510 千円と大幅な赤字となりました。

ここあんについて方針を明確にし、物価高騰で経費の増加に対するコスト管理、介護スタッフの確保が大きな課題となります。社会福祉法人を取り巻く環境は非常に厳しく、当法人は持続可能な経営を維持し、福祉ニーズの複雑化、多様化、地域社会の変化に対応し、質の高いサービス提供を行い、経営基盤の強化を図ってまいります。

Ⅲ. 庶務事項

1. 理事会

年月日	決議・報告事項
令和 6 年 6 月 5 日	令和 5 年度事業報告・決算報告・監事監査報告承認 評議員 1 名辞任につき 1 名推薦 評議員選任・解任委員任期満了につき候補者選任承認 第 95 回定時評議員会開催事項承認 第三者委員任期満了につき任命報告
令和 6 年 7 月 14 日 (決議の省略)	居宅介護支援事業所ここあんの事業休止届提出承認 第 96 回臨時評議員会の決議の省略の提案に係る議案承認
令和 6 年 10 月 23 日 (決議の省略)	デイサービスセンターここあんの事業休止届提出承認 第 97 回臨時評議員会の決議の省略の提案に係る議案承認
令和 6 年 11 月 12 日	サービス付き高齢者向け住宅ここあん賃貸借契約書解約承認 第 98 回臨時評議員会開催事項の承認 理事長職務執行状況報告（令和 6 年度上期事業報告）
令和 6 年 3 月 26 日	令和 6 年度収支補正予算承認 令和 7 年度事業計画及び収支予算承認

2. 評議員会

年月日	決議・報告事項
令和6年6月21日	令和5年度事業報告・決算報告・監事監査報告承認 評議員1名辞任につき1名推薦報 評議員選任・解任委員任期満了につき選任報告 第三者委員任期満了につき任命報告
令和6年7月20日 (決議の省略)	居宅介護支援事業所ここあんの事業休止届提出承認
令和6年10月24日 (決議の省略)	デイサービスセンターここあんの事業休止届提出承認
令和6年11月20日	サービス付き高齢者向け住宅ここあん賃貸借契約書解約承認 令和6年度上期事業報告

3. 評議員選任・解任委員会

年月日	決議・報告事項
令和6年6月12日	評議員1名辞任につき理事会推薦候補者1名選任

4. 第三者委員会

令和6年6月12日 令和5年度度苦情処理実績報告

5. 登記事項

令和6年6月26日 資産の総額の変更登記

6. その他

令和6年5月1日 新潟市消防局立ち入り検査

令和6年11月1日 永年勤続者表彰

IV. 法人内部監査

令和6年5月8日

- 監査実施事項 ①法人役員等の業務が適切に執行されているか。
②事業報告について、法令及び定款に従い実施されているか。
③計算書及び財産目録が適正に処理されているか。
- 指摘事項 なし

V. 所轄庁からの報告徴収・検査

令和6年度は、所轄官庁等による指導監査及び実地指導等はありませんでした。

VI. 苦情の受付及び解決

令和6年度は、福祉サービスにおける苦情の受付はありませんでした。

VII. 地域における公益的取組

社会福祉法人等による生活困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減制度を実施し、法人全体で 1,219,961 円を「利用者負担軽減額」において計上しております。

山の下地区活性化まちづくり実行委員会主催で行われました 8/24.25「光と船のキラメキ！山の下夜遊びランド」、10/26「山の下ハロウィンパーティ」そして 9/15「山の下神宮秋季大祭」の協賛を行いました。

VIII. 職員教育・研修

令和 6 年度は、法人の経営理念、基本方針に沿ったより良いサービスの提供を行うため、一般職員、中堅職員、管理者に区分したそれぞれのテーマで、利用者の多様なニーズに応えるべく、施設内外の研修を実施いたしました。

研修によって得た専門性や実践力の向上が、それに伴った意欲の向上で業務改善意識も高まり、組織の活性化につなげることが出来ました。

【内部研修】

月/日	研 修 名	参加者・対象者	内容
4/15～ 4/30	入浴介助マニュアル研修	デイサービス職員 14 名	デイサービス入浴介助マニュアルの動画・資料で基礎を確認し、正しい入浴介助の手順を学ぶ。
6/6 ～ 6/22	感染症対策研修	全職員 69 名	新型コロナウイルス感染症で重要な感染予防のポイントと手指消毒の手技を学ぶ。
6/26	第 1 回口腔ケア研修	全職員 17 名	口腔ケアの必要性、リスクの高い利用者への歯科専門職による助言・指導。
7/22～ 8/23	排泄研修	全職員 21 名	日頃のケアを振り返りより質の高いケアを実現することを目指す。
9/18	看取りケア研修	全職員 21 名	高齢者の終末期にその人にとってのよい死が迎えられるよう自分たちにできる最善のケアを考えること。
10/1～ 10/11	感染症対策研修	全職員 38 名	臥床時に嘔吐をした場合の対応・濃厚接触者の居室での対応について学ぶ。
10/18 ～ 10/26	認知症事例検証研修	介護職員 12 名	不適切ケアとは何かを学び、今後どのような介助を心掛けていくのかを考える。
10/21 ～ 10/31	入浴加算用研修（動画）	デイサービス職員 12 名	入浴加算の算定要件と入浴介助の手順についての動画研修。

11/6	褥瘡勉強会	介護職員 24 名	褥瘡予防のためのポジショニングの必要性を理解し、正しい体位変換を行う。
11/14 ～ 11/16	虐待と身体拘束研修 目指すケアの在り方とココロの コントロール	全職員 28 名	虐待・身体拘束の定義と背景を学び虐待防止に努める・
3/1 ～ 3/14	身体拘束研修 スピーチロックについて	全職員 74 名	スピーチロックとはどういう事なのかを理解し、言い換え表現の実践を行う。
3/11～ 3/25	リスクマネジメント研修	全職員 62 名	事故の再発防止対策として、どのような点に気をつければ良いのかを、事故の事例と対処法を学ぶ。
3/26	第 2 回口腔ケア研修	全職員 11 名	日頃のケアを振り返りより質の高いケアを実現することを目指す。
3/31	リスクマネジメント研修	全職員 60 名	1 年間で起きた事故・ヒヤリハットの集計を行い、検証を行った。

【外部研修】

研修区分	参加数 (延人数)	受講内容等（抜粋）
管理者対象研修	12 名	介護経営セミナー、第 1 回院内感染対策研修会、苦情受付担当者等のための苦情解決能力向上研修会、感染症対策研修会、人材不足を見据えた生産性向上・業務効率化、生産性向上新時代への介護の未来、高齢者地域ケア介護、第 61 回衛生管理者研修会、ノロウイルス感染予防について、新潟県閉扉老人ホームケアハウス連絡情報交換会、福祉サービスに関する苦情解決責任者研修、科学的介護システム第 2 回説明会
介護職（主任・副主任）対象研修	3 名	介護福祉士養成施設実習指導者研修、ノロウイルス感染予防について、コンフリクトマネジメント研修
介護職（中堅職員）対象研修	7 名	介護福祉士養成施設実習指導者研修、リーダーコミュニケーション研修、コンフリクトマネジメント研修、会議ファシリテーション研修、第 2 回新潟市認知症介護実践者研修
介護職（一般職員）対象研修	10 名	認知症ケア、気づく力研修、ティーチング研修、伝える力研修モチベーションマネジメント研修、ストレスマネジメント研修、レクリエーションセミナー、介護レクリエーションアイデア集、看取りケア研修

生活相談員・ケアマネジャー対象研修	14 名	令和 6 年度主任介護支援専門員更新研修、けあまねっと山の下連絡会、けあまねっと山の下事例検討会、苦情受付担当者等のための苦情解決能力向上研修会、熱中症アンバサダー講座、山の下みんなで身寄りのない方を支えるために、高齢者地域ケア会議、家庭内で起こる虐待の予兆をどのように察知し早期介入・早期支援に繋げるか、認知症調査従事者現任研修、コミュニケーション研修、施設介護支援専門員研修、科学的介護システム第 2 回説明会
看護職・栄養士対象研修	9 名	高齢者に対する低栄養スクリーニングとサルコペニア評価、第 1 回院内感染対策研修会、感染症対策研修会、山の下みんなで身寄りのない方を支えるために、病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修、令和 6 年度新潟市給食施設指導会、地域の看護職研修会、新潟県喀痰吸引指導者研修
事務職員対象研修	8 名	給与支払者向け定額減税説明会、社会保険手続きの電子申請にかかるオンライン説明会、令和 6 年度算定基礎事務講習会、第 61 回衛生管理者研修会、改正育児・介護休業法のポイントと就業規則改定の留意点、障害者雇用納付金制度事務説明会、障害者雇用セミナー、職域型年金委員オンライン研修会

IX. 補助金事業及び助成金事業・寄付金の実績報告

1. 補助金事業及び助成金事業について

下記の助成金事業及び補助金事業により各対象の事業を実施しましたので報告します。

No.	補助金等の名称	交付目的及び概要	交付団体等	交付額	当事業による効果等
1	キャリアアップ助成金（正社員コース）	非正規雇用労働者の企業内でのキャリアアップを促進するため、正社員化、処遇改善の取組を実施した事業主に対して助成	新潟労働局	¥695,000	非正規職員を正職員に転換することにより生産性向上に繋がった
2	人材開発支援助成金（人材育成支援コース）	職務に関連した知識・技能を習得させるための訓練を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成	新潟労働局	¥161,000	介護福祉士実習指導者研修等により職員のキャリアアップ促進に繋がった
3	特定求職者雇用開発助成金	就職困難者を雇用保険一般被保険者として雇い入れ、継続して雇用する企業に助成	新潟労働局	¥1,100,000	就職困難者を安定的に雇用できる環境を構築できた
4	令和 6 年度社会福祉法人等による生活困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減制度事業助成金	介護サービスを利用する低所得者に対する利用者負担軽減額の補助	新潟市	¥80,000	費用負担が軽減されることで、経済的な理由で介護サービスを利用できるようになった。また社会福祉法人が地域のニーズに応じた支援を行うことで地域全体の福祉向上に寄与できた。

5	令和 6 年度結核予防費補助金事業			¥71,666	本事業により、入所者の結核予防措置が実施できた
6	軽費老人ホーム事務費補助金	軽費老人ホームの運営費の補助	新潟市	¥18,630,000	本事業により利用者に対し包括的なサービスが提供できた
7	疾病予防補助金	職員に対するインフルエンザ予防接種費用に対する補助	新潟臨港保健組合	¥84,000	当法人職員に対し円滑に予防接種をすることができた
8	令和 6 年度介護人材確保推進事業費補助金（外国人介護人材受入施設環境整備事業）	外国人介護人材が円滑に就労・定着をさせるためにその費用を助成	新潟県	¥78,000	外国人介護人材が円滑に業務できるようになった
合計				¥ 20,899,666	

2. 寄付金

令和 6 年度における寄付金はありませんでした。